

# 学生による地域フィールドワーク 研究助成



学生対象



募集  
案内

## 趣旨

富山県内高等教育機関に在籍する学生が、富山県内の地域がもつ課題について、地域と一体となって行う解決方策の提言や課題解決のための実践的なフィールドワーク研究を支援します。

対象研究：ゼミ(講座・専攻)等の専門性を活かし、教員の指導のもとに実施するフィールドワーク研究

助成額： 20万円(上限) / 1研究

募集締切：平成29年5月18日(木)

研究成果発表会・表彰式：平成30年2月下旬

※応募要項などの詳細は、大学コンソーシアム富山のホームページでご確認ください↓

お問い合わせ：大学コンソーシアム富山事務局  
〒930-0096富山市舟橋北町7-1 ☎076-441-2455



**平成 29 年度大学コンソーシアム富山  
「学生による地域フィールドワーク研究助成」 事業募集要項**

**1 趣 旨**

大学コンソーシアム富山（以下「コンソーシアム」という。）に加入している富山県内高等教育機関（以下「県内高等教育機関」という。）に在籍する学生が、富山県内（以下「県内」という。）の地域がもつ課題について、地域と一体となっていく、解決方策の提言や課題解決のための実践的なフィールドワーク研究を支援することで、次の世代を担う学生と県内の地域との交流の拡大、連携を促進し、地域の活性化を高めるとともに、学生にコミュニケーション力や課題解決力を身につけてもらう。

**2 募集する助成対象研究の内容**

(1) 研究題目内容

研究テーマを基に県内のそれぞれの地域においてフィールドワークを行い、そこにある魅力や課題を引き出し、県内の自治体等が今後取り組むべき、地域の魅力の活用や課題解決策等を提案する。

(2) 助成対象研究

県内高等教育機関に在籍する学生が所属するゼミナール（講座、専攻）等（プロジェクト授業を含む。）の専門性を活かし、教員の指導のもとに学生が実施する、県内でのフィールドワーク研究であること。

(3) 助成額

1 研究当たり 20 万円を限度とする。

(4) 助成件数

10 件程度

(5) 助成対象経費

交通費、消耗品費、通信費、会場使用料、保険料、その他研究に要する経費等とする。  
ただし、賃金、備品購入費、飲食費及び助成応募する研究目的以外の経費は除くものとする。

**3 募集締切日**

平成 29 年 5 月 18 日（木）（必着）

**4 研究期間**

本助成金の対象となる研究は、平成 30 年 1 月 31 日（水）までに終了するものとする。

**5 応募方法及び応募書類**

- (1) 助成対象となる研究を提案する代表学生が、所属するゼミナール（講座、専攻）等（プロジェクト授業を含む。）の指導教員を経由して提出すること。
- (2) 応募については、[別紙様式 1](#)によること。

## 6 応募書の提出先

郵送又は持込みにより、次の応募先まで提出してください。  
〒930-0096 富山市舟橋北町7番1号 富山県教育文化会館内  
大学コンソーシアム富山

## 7 審査及び交付の決定

- (1) コンソーシアムは、提出のあった応募書類について、審査委員会を設置し、助成対象研究を審査し、地域貢献部会において助成金の交付を決定する。
- (2) 地域活性化への寄与、研究成果の地域への還元等の観点を踏まえ、地域バランスに留意した上で決定する。
- (3) コンソーシアムは交付決定したときは、当該申請者に対し速やかに交付決定を通知する。

## 8 研究成果の報告

助成対象事業完了の日から30日を経過した日又は平成30年1月31日のいずれか早い日までに研究成果報告書（[別紙様式3](#)）をコンソーシアムに提出すること。

また、実績報告書（[別紙様式2](#)）については、研究目的購入品の支出完了後すみやかにコンソーシアムに提出すること。

## 9 研究成果発表

- (1) 本助成を受けた研究は、平成30年2月下旬（予定）に開催する研究成果発表会において、研究成果を発表するものとする。
- (2) コンソーシアムは、研究成果報告書を関係者及び関係機関に配布する。また、コンソーシアムのホームページに掲載する。

## 10 表彰

提案内容をはじめ、研究成果発表会におけるプレゼンテーション等を審査し、別に定める表彰要項により「大学コンソーシアム富山地域研究賞」を授与する。

## 11 その他

応募書等様式につきましては、大学コンソーシアム富山のホームページに掲載してありますのでご利用ください。

URL <http://www.consortium-toyama.jp/student.html#tiiki>

### [事務担当]

〒930-0096 富山市舟橋北町7番1号  
(富山県教育文化会館内)  
大学コンソーシアム富山事務局 酒井  
TEL 076-441-2455 FAX 076-441-2456

(別紙様式1)

平成29年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 応募書

年 月 日

大学コンソーシアム富山地域貢献部会長 殿

<応募者>

代表学生： \_\_\_\_\_ (印)

指導教員： \_\_\_\_\_ (印)

所属教育機関名： \_\_\_\_\_

所属教育機関住所： \_\_\_\_\_

大学コンソーシアム富山 平成29年度 学生による地域フィールドワーク研究助成に応募します。

<実施主体>

本活動に携わる者は以下のとおりです。

(ゼミ等名称： \_\_\_\_\_ )

区分	氏 名	学年・役職	TEL	E - m a i l
担当学生				
指導教員				
ゼミ等の構成 (学生数)	名			

※ 複数のゼミ等で取り組む場合は、上記の様式により追記願います。

< 研究の概要 >

<p>研究題目 (研究分野は欄外参照)</p>		
<p>研究の概要(300字以内) (フィールドワークの 対象地域・方法) ※より地域の魅力や課題が顕 在化等される研究を記入して ください。 ※今後地域が自立発展する提 案を記入してください。</p>		
<p>見込まれる 研究成果・ 成果の効果</p>		
<p>これまでの活動実績 ※本研究への応用が考えられ るものを記入してください。</p>		
<p>フィールドワークの 対象地域・活動頻度と 年間研究計画</p>	<p>対象地域：</p>	
	<p>活動頻度：                    回／年</p>	
	<p>時 期</p>	<p>内 容</p>

<研究分野>

(A) 地域産業の活性化 (特産品による商品開発、観光プランの提案、富山西経営、新技術の実証など)、(B) 文化の継承・発展 (地域行事の企画運営、伝統的文化の保存、ものづくりなど)、(C) 保健・医療又は健康・福祉の増進 (住民参加の体力づくり教室、高齢者との交流、介護など)、(D) 教育支援・子どもの健全育成 (教育支援・学習支援、食育、子育て支援、体験活動、スポーツ振興など)、(E) 環境の保全 (地域の生態系、緑化や育樹、環境教育・啓発など)、(F) まちづくり (空き家の活用、地域交通システム、地域の安全安心、家屋の耐震など)、(G) その他の活性化 (地域の魅力の情報発信、国際交流、消費者保護など)

<資金計画> ※本事業助成金以外の独自予算や地域の支援・負担の度合いも審査で評価します。

○収入

区 分	金 額	内 訳
自 己 資 金 <sup>※1</sup>		
助 成 金 <sup>※2</sup>		
収 入 計		

※1. 教育研究費等の自己財源やその他収入がある場合。

※2. 本事業の助成金額。

○支出

区 分	金 額	用 途
交 通 費		
消 耗 品 費 等		
諸 経 費		
会場使用料等		
支 出 計		

※消耗品費等：消耗品費、印刷製本費

※諸経費：会議費、通信費、保険料

※助成金での賃金、備品購入費、飲食費及び助成応募する研究目的以外の経費は支出できないものとします。

※ 記入欄の枠は、適宜増減して下さい。

※情報公開の承諾

本事業の応募内容（研究題目、研究の概要、所属教育機関名）について、富山県内市町村に情報提供すること及び採択された場合には大学コンソーシアム富山ホームページ等に公開することについて

承諾する。       承諾しない。      （□にレ印を記入してください。）

(別紙様式1) [記載例]

平成29年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 応募書

年 月 日

大学コンソーシアム富山地域貢献部会長 殿

<応募者>

代表学生： \_\_\_\_\_ (印)

指導教員： \_\_\_\_\_ (印)

所属教育機関名： \_\_\_\_\_

所属教育機関住所： \_\_\_\_\_

大学コンソーシアム富山 平成29年度 学生による地域フィールドワーク研究助成に応募します。

申請書は4頁以内とします。(フォームは3頁設定です。)色文字は、使用しないでください。

<実施主体>

本活動に携わる者は以下のとおりです。

(ゼミ等名称： \_\_\_\_\_ )

区分	氏名	学年・役職	TEL	E-mail
担当学生	この欄に収まらないときは別紙名簿としてください。			
指導教員				
ゼミ等の構成 (学生数)	名			

※ 複数のゼミ等で取り組む場合は、上記の様式により追記願います。

応募書は簡条書きで簡潔に記入してください。

<研究の概要>

<p>研究題目 (研究分野は欄外参照)</p>	<p>研究分野 ( ): ○○○○○○の発掘と活用</p>	
<p>研究の概要(300字以内) (フィールドワークの 対象地域・方法) ※より地域の魅力や課題が顕 在化等される研究を記入して ください。 ※今後地域が自立発展する提 案を記入してください。</p>	<p>(例示) ① . . . . . を検証する。 ② . . . . . と連携して○○を調査し課題を探る。 ③ . . . . . 地域の資源を活かした取り組みを提案する。 ④ . . . . . ○○祭りのリピーターの満足度から見た魅力。 ⑤ . . . . . .</p>	
<p>見込まれる 研究成果・ 成果の効果</p>	<p>① . . . . . ② . . . . .</p>	
<p>これまでの活動実績 ※本研究への応用が考えられ るものを記入してください。</p>	<p>① ②</p>	
<p>フィールドワークの 対象地域・活動頻度と 年間研究計画</p>	<p>対象地域:</p>	
	<p>活動頻度:                      回/年</p>	
	<p>時期</p>	<p>内 容</p>
	<p>○月○日</p>	<p>必要な . . . . .</p>

<研究分野>

(A) 地域産業の活性化 (特産品による商品開発、観光プランの提案、富山型経営、新技術の実証など)、(B) 文化の継承・発展 (地域行事の企画運営、伝統的文化の保存、ものづくりなど)、(C) 保健・医療又は健康・福祉の増進 (住民参加の体力づくり教室、高齢者との交流、介護など)、(D) 教育支援・子どもの健全育成 (教育支援・学習支援、食育、子育て支援、体験活動、スポーツ振興など)、(E) 環境の保全 (地域の生態系、緑化や育樹、環境教育・啓発など)、(F) まちづくり (空き家の活用、地域交通システム、地域の安全安心、家屋の耐震など)、(G) その他の活性化 (地域の魅力の情報発信、国際交流、消費者保護など)



<資金計画> ※本事業助成金以外の独自予算や地域の支援・負担の度合いも審査で評価します。

○収入

区 分	金 額	内 訳
自己資金※ <sup>1</sup>		
助成金※ <sup>2</sup>		
収入計		

※1. 教育研究費等の自己財源やその他収入がある場合。

※2. 本事業の助成金額。

○支出

区 分	金 額	用 途
交 通 費		
消 耗 品 費 等		
諸 経 費		
会場使用料等		
支 出 計		

※消耗品費等：消耗品費、印刷製本費

※諸経費：会議費、通信費、保険料

※助成金での賃金、備品購入費、飲食費及び助成応募する研究目的以外の経費は支出できないものとします。

※ 記入欄の枠は、適宜増減して下さい。

※情報公開の承諾

本事業の応募内容（研究題目、研究の概要、所属教育機関名）について、富山県内市町村に情報提供すること及び採択された場合には大学コンソーシアム富山ホームページ等に公開することについて

承諾する。       承諾しない。      （にレ印を記入してください。）

(別紙様式2)

# 平成29年度 学生による地域フィールドワーク研究助成事業 実績報告書

平成 年 月 日

大学コンソーシアム富山地域貢献部会長 殿

所属機関住所		
所属機関名		
代表学生		印
指導教員		印
事務担当者	所属	
	氏名	印
	電話	

平成 年 月 日付けで助成金交付決定を受けた学生による地域フィールドワーク研究助成事業が完了したので、下記のとおり報告します。

## 記

研究題目					
事業完了年月日		平成 年 月 日			
事業費収支決算内訳					
収入	区分	予算額(円)	決算額(円)	備考	
	自己資金				
	助成金				
	計				
支出	区分	応募時の経費(円)	決算額(円)	備考	
	交通費				
	消耗品費等	消耗品費			
		印刷製本費			
	諸経費	会議費			
		通信費			
		保険料			
	会場使用料等				
計					

※ 研究目的購入品の支出完了後すみやかに提出すること。

